

公立高校入試情報 新潟県

【社会】

令和5年度新潟県入試の全体傾向

●大問構成、問題数について

- 大問数：地2・歴2・公2の計6問
- 小問数：39問 昨年から1問増
- 文章記述問題は昨年から2問増で7問

●出題傾向について

- 全分野とも基本的知識を問う問題が多い。
- 地理・公民の記述問題では、資料を読み取って答える問題が出題されている。
読み解力と文章をまとめる力が必要。
- 歴史は例年、並べかえ問題や同時代のできごとを問う問題が出題される。
歴史の流れを理解しておくことが必要。

■ 活用問題の出題

- ・例年、資料から読み取れること・考えられることを記述させる問題が出題されているため、資料の読み取り対策と記述対策の両方が必要。

■ 歴史の時代関係の問題の出題

- ・例年、歴史でおもなできごとの並べかえ問題が出題されているため、テーマごとに歴史の流れをおさえる対策が有効。

★新潟県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

出題内容別の傾向	単元名／項目	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
地理的分野	世界の姿	●	●	●	●
	日本の姿	●			
	世界各地の人々の生活と環境	●		●	●
	アジア州	●	●		
	ヨーロッパ州、アフリカ州		●		●
	北アメリカ州、南アメリカ州、オセアニア州	●	●	●	
	地域調査の手法		●	●	●
	日本の自然、人口	●	●	●	●
	日本の資源・産業、世界との結びつき	●	●	●	●
	九州地方、中国・四国地方		●		
歴史的分野	近畿地方、中部地方		●	●	●
	関東地方、東北地方、北海道地方	●		●	
	文明のおこりと日本	●			●
	古代国家の歩み	●	●	●	●
	中世社会の展開	●	●	●	●
	ヨーロッパ人と出会いと全国統一	●			
	近世社会の発展	●	●	●	●
	近代ヨーロッパと日本の開国	●		●	●
	近代日本の歩み		●	●	●
	二度の世界大戦と日本	●	●	●	●
公民的分野	現代の日本と世界	●	●	●	●
	現代社会と私たちの生活		●		
	個人の尊重と日本国憲法	●	●	●	●
	現代の民主政治、国会	●	●	●	●
	内閣・裁判所、三権分立	●			●
	地方自治			●	
	消費生活と流通・生産、市場経済と金融	●	●	●	●
	財政、国民生活と福祉	●	●	●	
	地球社会と私たち	●		●	●
	分野統合				
出題形式別の傾向	大問数	6	6	6	6
	小問数	37	35	38	39
	記号解答	22	22	22	25
	用語記述	7	7	10	7
	文章記述	6	5	5	7
	作業・作図	2	1	1	